

M05a リムイベントで見たフレア前の構造の変化

藤木謙一 (総研大)、中島弘 (国立天文台野辺山)

1992年6月末から1993年12月の期間にリム付近 ($\theta > 70^\circ$) で発生したMクラス以上のフレアイベント (13イベント) について、フレア発生以前の構造の時間発展を野辺山電波ヘリオグラフを用いて解析した。

そのうちLDEではすでにフレアソースよりも高い位置に構造が発達しており、その輝度温度の変動が有意なレベルで存在することが電波像から観測された。この変動を詳しく調べたところ、フレア部直上には輝度温度にして数万度の増光部があり、その周辺領域には数千~2万度の減光部が見られる。またこの変動 (増光/減光) が同期して起こるイベントも存在する。

これらの現象について、他の観測データも用いた解析結果を発表する。